

令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

| | | | | | | | |
|---|----------|-----|------------------------------|----------|-------------|------|--|
| 講習 番号 | 9 | 講習名 | 【選択⑨】特別支援教育—子どもの学校生活支援 | | | | |
| 担当講師 | 開催地 | 時間数 | 主な受講対象者 | 受講人数 | 講習形式 | 試験方法 | |
| 沖西紀代子 織田靖史 古山千佳子 永野なおみ | 三原キャンパス | 6時間 | 幼稚園教諭, 小学校教諭, 中学校教諭, 養護教諭 | 50人 | 対面講義・ 討議 | 筆記 | |
| 開催日 | 8月19日(木) | | 予備日 | 8月26日(木) | | | |
| 【到達目標】 学校における子どもの健康面, 学習面, 行動面, 心理面, 対人関係における特徴や課題を理解し, その支援策を検討するための知識・技能を習得することを目標とする。 | | | | | | | |
| 【講習の概要】 子どもたちは, 学校において, 健康面, 学習面, 人間関係など, 様々な問題を経験している。この講座では, 看護師, 保健師, 養護教諭, 社会福祉士, 作業療法士の資格を有する教員により, 子どもたちが学校生活で直面する様々な課題を医療・保健・福祉の視点で分析し, その具体的な支援について教授する。 | | | | | | | |
| 【講習の内容】 講義1: 発達障害のある子どもの健康管理 (担当: 保健福祉学科 看護学コース 養護教諭 看護師 沖西 紀代子) 健康維持, 病気の予防には基本的な生活習慣の確立が不可欠であり, 基本的な生活習慣の確立のためには多様なスキルを身につける必要がある。しかし, 発達障害のある子どもは体を清潔にすることや体の不調に気づくことなどがうまくないことがある。当たり前に獲得できる生活習慣が大きな課題になっていることもある。健康管理につながるスキルの獲得状況をアセスメントし, 個々の状況に応じたスキル習得の支援方法について考える。 | | | | | | | |
| 講義2: 傷つきやすく, 感情のコントロールが難しい子どもへのかかわり方 (担当: 保健福祉学科 作業療法学コース 作業療法士 織田 靖史) 近年の研究では, 成育歴の早い時期から逆境的体験をすることでトラウマを抱える子どもの存在が明らかになっており, 早期の支援が求められている。本講習では, そのような子どもに必要とされている支援および日常の場におけるかかわり方のコツについて学ぶことを目標とする。 | | | | | | | |
| 講義3: 子どもの課題遂行上の問題と対応 (担当: 保健福祉学科 作業療法学コース 作業療法士 古山 千佳子) 「道具等の準備に時間がかかる」, 「気が散って課題に取り組めない」, 「他の子どもと同じ量の課題ができない」, 「道具や材料を片付けない」など, 課題を行う上で様々な困難さを示す子どもがいる。これらの現象を課題遂行の問題として捉え, 人—環境—作業の視点で分析する。そして, 子ども達がより楽に, 効率よく, 安全に, 自立して課題を行えるようになるための支援策について考える。 | | | | | | | |
| 講義4: 障害のある子どもに対する社会福祉サービス (担当: 保健福祉学科 人間福祉学コース 社会福祉士 永野 なおみ) 障害のある子どものための社会福祉の法体系は, 児童福祉法及び, 身体・知的・精神・発達の各障害の関係法, 障害者総合支援法等が混在する複雑な仕組みとなっている。この講義では, 就学・就労支援, 経済的支援, 日常生活を支える各種の支援等の主な社会福祉サービスについて解説し, その内容や利用方法, 課題等を理解することを目標とする。。 | | | | | | | |
| 【備考】 試験の際, 講義資料とノートの持ち込みを認めます。 | | | | | | | |

